



# 花みずき



第19期 第3号  
発行者代表 國吉純枝  
編集者 米田節子

主 題 神の力によってキリストと共に生きる

主題聖句 「願いなさい。そうすれば与えられる、あなたがたは喜びで満たされる。」

ヨハネによる福音書 16：24

## 『初心と共に』

中島共生牧師(下関・厚狭・宇部教会)

2019年4月より、日本福音ルーテル下関・厚狭・宇部教会牧師として赴任いたしました中島共生(なかじまともき)と申します。これまで西教区の皆さまとの交わりはあまりありませんでしたが、これからたくさんの交わりの時が与えられることを楽しみにしています。

私は神学校を卒業したばかりの、新卒です。どのようなことができるだろうかと、派遣される日を心待ちにしていました。卒業を間近に控える中で、新任オリエンテーションでこのような言葉をいただきました。「新卒の皆さまを、教会員は新進気鋭の牧師として期待して待っています。」心からの笑顔と共にいただきましたその言葉に、少し緊張したのを覚えています。どれだけ未熟であろうと、牧師として派遣されるのです。自分にできることを精一杯させていただこう、そう決意を新たにしたのでした。

とは言え、右も左もわからないのは事実です。教会でいつも通り行われることの多くが私にとっては初めてのことであり、想定外の世界です。そんな時は一つずつ、丁寧に、信徒のみなさまに聞きながら歩いてゆくことを心掛けています。いつまでも新卒ではいられないけれど、いつまでも初心は大切にしたいと思っています。自分にできることを精一杯、誠実に。何もわからない新卒牧師はそれしかできません。逆に言えば、それは毎日が学びの日々であり、新鮮な日々であるということです。

学ぶことは、そこから動かされてゆくことではないでしょうか。時には自分の持っている価値観と違うものに出会ったり、見知らぬ世界に驚いたりもします。けれどそこで与えられた気付きにしっかりと目を向け、受け入れ、そして動かされてゆく。それこそが教会の歩みだと信じています。これから西教区で学ばせていただけること、皆さまと共に歩めることを心から嬉しく思っています。欠け多き器ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。



### 中島共生牧師 プロフィール

1988年 北海道帯広生まれ  
2000年 千葉県市川に引っ越す  
2013-2017年 ルーテル学院大学  
2015-2019年 日本ルーテル神学校  
2019- 下関・厚狭・宇部教会  
2019年より新卒として赴任。  
父、弟もルーテル教会の牧師。  
(父は市川教会、弟は恵み野教会)  
二年に一度会えるのが嬉しい。

## 地区連絡会報告

今回は「備えて生きる」をテーマに、各地区3名の方に発題をして頂き、そこから広げる形で、グループに分かれて話し合いをしました。その後全体での分かち合いをしました。また、自己紹介や各教会の様子を報告したり、「プラスワン運動」・「花みずきの集い」のご案内・メール配信について等も話し合うことができました。

発題をしてくださった9名の皆様、有難うございました。

会場を引き受けてくださった教会の皆様、お世話になりました。

【関西地区】7月2日(火) 13:00~16:00 西宮教会 参加者20名

○礼拝:竹田大地牧師「必要なことは一つ」ルカ福音書10:38~42

○みんなで賛美:(西宮)市原理美子姉

○備えて生きる:(豊中)秋山綾子姉、(神戸)松本奈美姉、(大阪)坂梨スズエ姉

※夙川(しゅくがわ)のほとりの緑豊かな教会で、心豊かな時を共有することができました。

【東中四国地区】7月4日(木) 10:30~14:30 参加者18名

○礼拝:加納寛之牧師「伝えるもの」申命記34:1~7 ルカ福音書12:32

○みんなで賛美:(岡山)滝川祐子姉

○備えて生きる:(岡山)原野富得姉、(広島)三輪真理姉、(西条)白島かおり姉

※岡山駅から長泉寺バス停下車。モダンな礼拝堂と玄関直結の集会室が印象的でした。

【西中国地区】7月8日(月) 10:30~14:30 シオン教会柳井チャペル 参加者22名

○礼拝:水原一郎牧師「主のひとみの向かう先」ルカ7:51~56

○みんなで賛美:(厚狭)吉田洋子姉

○備えて生きる:(宇部)吉川純子姉、(シオン)藤井素子姉、(厚狭)嶋田怜子姉

※柳井駅から徒歩5分。“一粒の麦”が隣接する、地域に根付いた教会でした。

## 「花みずきの集い」のご案内 - 第19期全体修養会 -

日時:2019年9月23日(秋分の日)11:00~15:30

会場:日本福音ルーテル西条教会

開会礼拝:西条教会 鈴木英夫牧師

賛美:広島教会 松木美郷姉

講演:神の力によってキリストと共に生きる

~マリアとマルタ、そしてあなたへ~

講師:正木うらら先生【神戸ルーテル神学校・関西聖書神学校講師】

参加費:700円

当日100円バザーを開催します(教区青少年育成の為に用います)

※たくさんのご参加を願っております。

どうぞお誘い合わせください。



## 西教区各個教会役員名簿

関西地区			東中国・四国地区		
京都 みぎわ会	会長	三宅愛子	広島	会長	三輪真理
	副会長/書記	沼崎素子		副会長	森本みどり
	会計	落合直子		書記	西本民子
修学院	会長	宮本陽子	松江	会計	林恵子
	副会長/書記	高田裕美		会長	森脇清子
	会計	井幡礼子		書記	松林三津子
大阪	会長	米田節子	松山	会計	光野幸子
	副会長	坂梨スズエ		会長	山口敏美
	書記	犬飼久美子	西条	会長	白島かおり
		石井恵美		書記	田丸浩子
	会計	犬飼知栄子		会計	池田千恵子
天王寺	会長	桑野住子	<b>西中国地区</b>		
	副会長	中岡喜代子	徳山チャペル	会長	平岡いづみ
	副会長	田村圭子		会計	藤井素子
	書記	津野真美	柳井チャペル	会長	部屋すみ子
	書記	北川桃子		副会長	酒谷美智江
	会計	越後谷寿子		書記	中下真知子
	会計	金山みな子		会計	伊藤喜代子
豊中	会長	秋山綾子	宇部	会長	藤井貴子
	書記	水野登美子		書記	柳井悦子
	会計	川畑佳永子		会計	八田順子
西宮	会長	浅井千恵子	厚狭	会長	吉田洋子
	書記	市原理美子		副会長	嶋田怜子
	会計	荻野眞理		会計	小林恭子
神戸東	会長	大黒環	下関	会長/書記	佐々木待子
	副会長	乾康子		会計	柳田明子
神戸	会長	山下米輝子	<b>西教区役員</b>		
	書記	下村道子	担当	教会	氏名
	会計	山本幸子	会長	厚狭	國吉純枝
<b>東中国・四国地区</b>			副会長/会計	徳山	佐伯鎮子
岡山	会長	原野富得	書記	大阪	米田節子
	書記	滝川祐子	連盟	西条	中原通江
	会計	湯原光子	会計監査	柳井	部屋すみ子
福山	会長/会計	三原澄恵	会計監査	広島	伊藤眞理

## 春キャン参加者の声

2019年の春キャンは千葉で行われました。

西教区からも8名が参加しました。

今回は「参加者の声」というタイトルで若いみなさんの感想を載せるにあたり、アンケート形式でお聞きしてみました。

質問とみなさんの回答は次の通りです。

### ①キャンプで一番楽しかったことは？

- ・いろいろな人と話せた。普段は話すことのない、他教区、他教会の人と会えたこと。
- ・食事の時間、グループ内で会話して食べられたこと。
- ・ゲーム
- ・自由時間に大人数でフリスビーをしたこと
- ・いっしょに歌うこと
- ・卒業式
- ・久しぶりに会った仲間との再会



### ②困ったことや難しかったことを教えてください。

- ・困ったことも難しかったことも特にないです。
- ・とんとんぱゲーム
- ・Wi-Fi ができなかったこと
- ・友達づくりは難しかったけれどすぐに慣れて、たくさんできました。
- ・善と悪はどんなものなのか考えるのが難しかった。

### ③よかったことを一つ！

- ・神様について考えることができたこと。
- ・自由時間が長かった。
- ・ごはんおいしかった。
- ・全国の友達をたくさん作れたこと。
- ・やさしい人がおおかったこと。
- ・プロジェクトで聖書の一言をみんなで話し合う時、周りの人が泣いていたりして、自分も心にジーンときてとても良いプロジェクトだった。
- ・新しい仲間をつくれた。

### ④その他、一口感想を！

- ・今回のキャンプでは親からの反対でなかなか教会に行けなかったり、春キャンに行くことを反対されたりする人がいることも知りました。

自分が恵まれた環境にいることが分かりました。

女性会の皆さん今年もご支援ありがとうございました!!

- ・今年は体調が悪く参加できないプログラムもあって残念だった。
- ・たのしかった。

- ・友達がたくさんできて楽しいので、ぜひ参加してほしいです。
  - ・神様についてもっとよくわかりました。
  - ・これからもよろしくお祈りします!!
- あと、春キャンの準備などしてくれたスタッフの方々ありがとうございました。
- ・来年はラグビーで、行けるか分かりませんが、行けたら行きます。

回答をお寄せくださったみなさん

小泉 想さん（京都教会） Park Woosangさん（大阪教会）

落合 晴さん（京都教会） 前田 帆乃香さん（広島教会）

辰馬 千佳子さん（天王寺教会） 田邊 陽さん（修学院教会）

菘田 進さん（天王寺教会）

ご協力ありがとうございました

## こども「思い出集」より

広島教会 高橋愛子

宣教90周年を迎えた広島教会で、20回目の「ルーテルこどもキャンプ」が開催されました。8月7日から三日間、非日常的なキャンプ生活を送りながら、目と耳を通して体験した「ヒロシマ」を自分の言葉で記憶に残しました。TNGの報告書の中に「思い出集」としてまとめられています。ここにこどもたちの言葉の一部を抜粋し、原文のまま紹介します。

73年前に生まれてなくてよかった。知らないことばかりでこわかった。核兵器を使う世の中になってはいけない。

原爆資料館のワンピース、下着など展示されていました。原爆のすごさを皆に知ってもらうために、自由研究にまとめる。

友だちがたくさんできて三日間たのしかった。グループの皆と助け合って平和な世界になるといいな、と思いました。

イエス様を信じるから私たちの心にイエス様はいて、私たち一人一人の間に平和があるのだ、とわかりました。

このようなこどもたちの言葉の中でひときわ目を引いた一文がありました。90年にわたる広島教会の歴史を学んだ子どもが「アンクル・ジョンがすごいと思いました。」と感想を述べていました。このアンクル・ジョンについて簡単に紹介しようと思います。

戦前・戦後と広島教会の牧師として働かれた渡辺潔牧師は、原爆で夫人とお嬢さんを亡くしました。戦争中は軍に召集され香港の捕虜収容所で通訳をしました。そこではアンクル・ジョンという仮名で敵国の捕虜に対して、密かに人道的な支援活動をしました。1949年に帰国し荒廃した広島で宣教を再開しました。1960年にはBBCの特別番組で、アンクル・ジョンは「一人の日本人」として、全英に紹介され絶賛を受けました。

私が「アンクル・ジョン」としての渡辺牧師のつとめを知ったのは、偶然にも広島教会の歴史をひもといたときでした。異国で、また広島でなされてきた牧師の行いを、「すごい」と捉えることができる子どもの率直さに平和を継承していく運動への希望を見出しました。

最後にこのキャンプを企画し実行委員として共に奉仕された皆様に心から感謝を申し上げます。

## びふぉー・あふたー 大阪教会より

「みことばと讃美歌に支えられて」

83歳の今年、洗礼を受けてちょうど60年になります。私の母は、熱心な仏教徒でいつも「なんまいだぶつ」を唱えていました。朝は、太陽に手を合わせ、夜は、月星に向かって手を合わせていました。子ども時代の私は、山陰の山のなかで、春夏秋冬の美しく素晴らしい自然には、子どもながら不思議を思っていました。

社会人になってから、同じ職場の方がクリスチャンで、日基の教会の礼拝に行くようになり、素晴らしい自然は、天地創造の神の業であることを知りました。2年後位に、近所に教会ができ近いので思い切って飛び込んでみました。なんと、新婚間もない石橋幸男先生と恵子夫妻の開拓伝道の教会でした。その後は、日曜礼拝、夜の聖研とそれ以外の日も教会に入り浸り、福音荘のキャンプなどに参加して、ロマ・8章28節の、神を愛する者たち、…御計画に従って万事益となるよう共に働く…のみことばで洗礼を決めました。教会讃美歌416番、わがゆくみち…いついかに…と主にすべてを委ねました。

1955年 時代は、ラジオのルーテルアワー伝道の盛んな頃で、広島教会からアワー伝道で益田教会訪問の坂梨と出会い、クリスチャンなら楽と思ひ結婚しました。クリスチャンなら楽と思ったのは甘かったです。広島教会で15年、夫の転勤で大阪教会へ41年経ちました。大阪では57歳の定年まで、毎週の礼拝はほとんど出ることが出来ず、月一度位の出席でした。定年後は、毎週の礼拝、聖研はほとんど休むことなく出ています。伝道の書・3章11節・神のなさることは皆その時にかなって美しい。

私は生来せっかちで、自己中心のため、家庭生活は順風満帆ではありませんでしたが、ロマ12章・2を毎日読み、教会讃美歌374番 たよりまつるわが主よ、と歌いつつの日々です。

失うものは何も無いが、信仰だけはなくならないようにと祈りつつ、83歳を越えての今日、今、生かされていることを感謝して、第1コリント10章・13節、神は真実な方です。耐えられない試練に遭わせることはなさらず、試練と共に耐えられるよう逃れる道も備えてくださいます…。

明日は主のみ心にお委ねしますと祈る日々です。

坂梨スズエ

私が婦人会（今の女性会）に入会した当時はるうてるホームでの入所が始まった頃でした。月1回水曜日に開かれる婦人会の集まりは10人程度で、もっぱらるうてるホームの話で持ち切りでした。

婦人会連盟総会でホームの必要性が議論され、全国の会委員の皆様のお祈りと、多くの方々のお働きでホームが誕生した経緯を胸を熱くして聞きました。特に大阪教会の辛木姉、大原姉、神戸の近藤姉は関西財界のトップを連日訪ねて寄付を頼まれたことは印象深く、今も心に残っています。

1960年代にお年寄りのためのホームをという発想に驚くと同時に、それを実現させた先輩の方々の信仰と努力を改めて感じます。

家庭を持ち、子育てする大切な時期に婦人会での交わりを与えられ、多くのことを学ばせて頂いたことを深く感謝しております。

(M/K)

【次回は岡山教会です】



先日お説教でレジリエンスについて伺った。安心した仲間とのネットワークは教会の強みといたく納得した。そして浸透圧のようにゆっくりゆっくりルーテル教会は私を育ててくださったと。

私には2卵生双子の妹がおります。実家への土産、買った洋服の色合いがそっくりです。それは夫に「髪型まで瓜二つだなあ」と言われるほど。その妹を見ていると私が信仰を持たなかった時の姿を想像できます。

神様は礼拝を通してせっかちだった私に待つことを教えられた。そして教友の誘いで母子支援施設へ関わらせ、寄り添うことを通し心も培ってくださった。安心の場と心という大切な物の他に資格も与えて下さったのです。

それでも様々な事情により絶望から眠れない夜があります。そんな時も私がここで泣いたらいけない冷静にとひと呼吸おき「最善をお与え下さい」と祈れる様に成長させていただきました。そんな私の姿に驚く家族がいます。

この夏も祈りの輪が国を超え時を越える体験をさせていただきました。神様と皆様に支えられて昔より強くなった自分を感じます。これは時に叶った御ことばを神様がくださるからでしょう。

末の妹は折々の相談は私にしてくれます。それだけでも充分すぎる恵みです。

主にありて感謝をもって投稿させていただきます。

遠藤玲子

「ことりたちは」びふおーあふたーというテーマをいただき、神様とはどういうお方なのか、初めて考えたのはいつかなあと思ったとき、真っ先に浮かんだのはこの賛美歌でした。ことりや私達(子供)という小さな存在や幼くて賛美歌も上手く歌えないことに対してはお優しく、でも悪いことはお嫌いなさる。特に、「悪いことは小さくてもお嫌いなさる神様」という歌詞は、いつも歌うとき少しドキッとしていました。小さな頃の自分の言動にもかなりの影響を与えていたように思います。今回振り返る良い機会をいただき、懐かしく思い出しました。(K.K)

「神様との出会いから～現在、未来をもすべて神様に委ねて。」

神様との出会いは小学校時代である。友人と共にキャンディーを目当てに遊び半分で教会に通い、とても楽しかった。教会では年配の牧師先生ご夫妻がいつも優しい笑顔で私たちを迎えてくださった。先生ご夫妻は讃美歌の「主われを愛す」が大好きで、また、聖書から「わたしはまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である」の御言葉を繰り返し聞かされた。当時は、来る日も来る日も同じ讃美歌を歌うので、いやで仕方がなかったのだが、今になっては、その讃美歌が私を支える愛唱歌となり、その聖書の箇所が持つ素敵なストーリーには、先生ご夫妻の深い愛と慰めを感じるため、ご夫妻には心から感謝している。

それから、中学・高校に入り、家の引越のため、新しい場所での教会は遠い存在となりそれでも、たまに行く教会は様々な世代の人たちから、「よく来てくれたね」と声を掛けられて、教会に繋がっていたことは幸いであった。

何よりも私にとって大きな出来事は、大学時代の新たな場所での神様の導きである。人間関係で、神様にその苦しみの意味を問い続け、自分の内面と向き合いながら葛藤したことも思い出す。

それから、多くの人々との出会いと別れ、喜びと悲しみ、仕事と結婚、そして、子育て、子どもの独立などを経験してきた。これまでの節目節目において、どれほど神様の深い憐みと恵みに守られ、また、多くの人々に支えられて、今の自分があることに気づき感謝している。

今回、「花みずき」のお蔭で、少し時間を使って振り返り、子どもの時代を思い起こしたら、時代とともに多くの事が変わり、自分の人生にも大きな変化の連続があったことを新たに気づかされた。その中で変わらないのは神様の存在、そして御言葉だけである。

神様と出会って50年も過ぎ、私の信仰はどのように変化したのであろうか。順調な時は神様を忘れて、苦しみや悲しみの時には神様の御名をもとめていた自分に気づき、情けなく、本当に恥ずかしい限りである

人生のライフステージでは、最後の統合の時期に入る私に、「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉はとこしえに立つ」というイザヤ 40:8 の言葉が深く心に迫る。神様の慰めと揺るがない御言葉を信じて、残りの人生を神様の方向に向かって歩みたい。神様、どうか、あなたの変わらない御言葉から、私を離れさせないでください。(K.H.)

私が神様に近づく動機づけになった本 神谷美恵子著 「人間を見つめて」

「卑小な自分を守ることや所有したつもりになっているもろもろのものや力を守ることに執着しなくなれば多くのエネルギーが解放される」

これを読んでわたしは肩の力が抜けました。やがて入信し、神様が恐れるなすべてのものを私にゆだね勇気をもって生きよとのお教えに日々安心と勇気を頂いています。(A.T)

## 会計報告 2019年6月末

皆さまのお支えによって「連盟会費等」納入することができました。感謝いたします。

連盟会費 224,900 円 会報購読 13,750 円 連盟献金 34,700 円 感謝献金 58,850 円  
サバ神学生 33,700 円 TNG39,000 円 リースコイン 33,160 円

合計 438,060 円

「喜望の家に 49,000 円」「るうてるホームに 27,000 円」送金いたしました。

### 《編集後記》

今年も大変暑い時期、お変わりなくお過ごしでしょうか？

教区女性会の皆さんが 1ヶ所に集まって共に学び、親しく食事をともにしながら交わりを深める全体研修会「花みずきの集い」で、多くの方々とお顔をあわせることができますことを楽しみにしています。どうぞお誘い合わせてご参加をお待ちしています。(Y)